

2019年10月9日  
防衛研究所 福島康仁

## 安全保障分野における米国の宇宙政策

### 1. 米国の戦略環境認識

#### ➤ 深まる危機意識

宇宙空間：×戦争のない「聖域」(sanctuary)  
「軍事的な挑戦を受ける領域」(contested domain)  
「脅威にさらされた領域」(threatened domain)  
「戦闘領域」(war fighting domain)

#### ➤ 宇宙利用をめぐる戦略環境の変化

##### ① 「暗黙の了解」の限界

冷戦期：米ソ間に「暗黙の了解」が存在したとの見方  
偵察衛星等が戦略的安定に果たす役割を重視  
軍備管理条約に自国の検証技術手段 (NTM) への妨害禁止を明記  
現在：「暗黙の了解」を共有しないアクターが台頭

##### ② 宇宙利用に対する妨害事例の増加

多様な妨害手段の存在、実際の妨害事例

### 2. オバマ政権以降の対応

#### ➤ 宇宙に紛争が及んだ場合への備え

2014年：宇宙に関する「戦略ポートフォリオ見直し」(SPR)

#### ➤ 対応の3本柱

##### ① 多層的なアプローチによる攻撃の抑止

規範醸成、コアリション構築、抗たん性強化、攻撃への対応能力・態勢保持

##### ② 抑止の失敗に備えた抗たん性の強化

宇宙領域任務保証、レジリエンス

##### ③ 基盤となる宇宙状況認識 (SSA) の向上

宇宙監視ネットワークの強化、SSA 共有の拡大

#### ➤ 国家宇宙防衛センター (NSDC) の設置

国防省と情報コミュニティ (特に NRO) の協働

#### ➤ 宇宙軍の創設 (計画)

2つの宇宙軍：USSF、USSPACECOM

### おわりに

#### ➤ 安全保障分野における日米宇宙協力

TCBMs の協調的 pursuit、SSA 協力、レジリエンス・衛星機能の連携、作戦協力